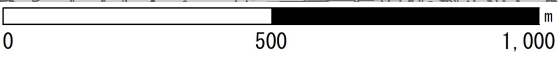


越前市内水想定区域図（今立処理区）



1. 説明文
- (1) この図は、大雨による公共下水道や水路等からの溢水や、河川の水位上昇により河川に排水できずにマンホールから水があふれたりすることによる氾濫（内水氾濫といいますが）について、水防法第14条の2第2項の規定に基づく雨水出水浸水想定区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。
- (2) この雨水山水浸水想定区域図は、令和5年度時点の下水道の整備状況を勘案して、想定しうる最大規模の降雨（1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/1000の降雨：1時間雨量130mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予想したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前掲となる降雨を超える規模の降雨、洪水による氾濫を考慮していませんので、この雨水出水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する事象や、想定される水深が異なる場合があります。
- (4) 大雨の際はこの図で示した浸水以外に河川からの洪水による浸水の可能性もあるので、河川が氾濫した場合に想定される浸水を要した洪水・内水ハザードマップも合わせてご確認ください。
2. 基本事項
- (1) 作成主体 越前市
- (2) 作成日 2026年（令和8年）3月
- (3) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- (4) 対象となる水位期知下水道 越前市公共下水道雨水計画区域
東久知地区（1,377ha）
東部処理区（573ha）
今立処理区（806ha）
（令和6年3月12日付け福井県告示第98号告示）
- (5) 指定に前掲となる降雨 想定最大規模の降雨（1時間あたりの雨量130mm）
- (6) 浸水想定手法 浸水シミュレーション手法（降雨損失・表面損失・管内水理・氾濫解析を2Dで実施、地表面データ使用）



浸水深	
	3.0m ~
	0.5m ~ 3.0m
	0.3m ~ 0.5m
	~ 0.3m
	対象区域